

4月4日に松屋地所フレッチフィールド人工芝にて、AIFA レフェリーアカデミー副審研修会を開催しました。

今回の研修では、まずシグナルの確認からスタートしました。3人1組で役割を分け、副審役2人・指示役1人をローテーションしながら実施しました。静止した状態でスローインやオフサイド、ファウルのシグナルを繰り返し行い、旗の角度や高さ、動作のキレなど細かい部分をお互いにチェックしました。特に「バシッ」と止める意識や、体幹を崩さないことを意識して取り組みまし



た。その後はサイドステップの動きを入れ、抜き打ちの指示に対応しました。動きながらも、シグナルを出す瞬間はしっかり止まること、フラッグがブレないことを意識しました。後半はオフサイド判定のトレーニングを実施しました。オフェンス同士で20秒間パスを回し続け、その中で副審は何度も判定を行いました。普段よりも回数をこなすことで、判断のスピードや精度を高める狙いです。また、1対1の入れ替わりの場面では、体の向きや首振り、ボールとラインの両方を見る意識を確認しました。あえて普段しない動きも取り入れることで違いを体感し、正しいポジショニングの大切さを再認識しました。最後は一人1回ずつ、3対2の局面でのオフサイド判定を行いました。試合に近い状況をイメージしながら、表情や余裕も含めた判定を意識するよう伝えました。また、後方から多くの人に見られる状況をつくることで、緊張感のある中での判断も経験してもらいました。全体を通して、良い雰囲気の中でトレーニングができ、実戦に近い形で多くの気づきを得ることができました。

【参加者感想(浅野 祐二)】 今回の副審研修会では主にシグナルとプラティカルトレーニングを行い、中でもオフサイドの判断時に意識する点を改めて整理できました。ラインキープに加えて、体をフィールドに正対すること、ステップを細かくすることでラインの修正に早く対応できることが大事だと感じました。

今後もこだわりを持って副審にも取り組んでほしいと、松本さんよりお話を頂きました。自身も担当するとき、試合中いるべきポジションで判定(判断)できたかを振り返りしているので、今後もスキルアップできるように継続して取り組んでいきます。

最後になりますが、研修会を計画、実施して下さった関係者の方々に感謝申し上げます。

【参加者感想(安藤 蓮)】 今回の副審研修会では、まずシグナルの確認を行い、旗の高さや角度、足の使い方など細かい部分を相互に指摘し合いました。分からない点はインストラクターに確認しながら理解を深めることができました。次に実践形式で最終ラインに立ち、20秒間の連続したオフサイド判定を行いました。普段とは違う目線や位置で見ることで、見え方の変化を実感することができました。最後に参加者全員に見られる中で判定を行い、緊張感のある状況での判断の難しさと、視点の重要性を再認識しました。雨の中でも、審判員・インストラクターを含めて良い雰囲気で行うことができ、今回学んだことを今後活かしていきたいと思えます。